

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	男女共同参画協働支援事業 (730304)			担当課	人権推進室		
	開始年度	平成14(2002)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	眞下 誠		
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉総務費	決算附属資料	118	頁	
	施策の大綱	男女共同参画の推進			関連計画等	第3次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2011後期計画		
	施策名	男女共同参画の推進体制を充実させる			根拠法令等	なし		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	男女がともに参画するまちづくりを推進していくために、行政と市民が協働して事業を実施し、さらには京都府との連携により、男女共同参画社会の実現をめざして活動するグループへの支援及び女性の社会参加の促進、女性リーダーの育成を図る。						
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.09		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 舞台照明CREW・SOLOOK						
	事業概要	・はばたきフェスティバルの開催(大規模啓発事業) ・はばたきネットワークへの支援(女性活動支援ルームの利用、男女共同参画に関する情報提供や学習機会の充実) ・女性活躍応援セミナー開催(女性社員向け研修2回、管理職人事担当者向け研修1回) ・福知山市女性活躍応援事業補助金事業(実績:地域2件、職場2件、合計4件) ・京都府事業への参加者支援(地域女性エンパワーメントセミナー及び女性リーダー養成事業)						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		補助金			433	
報償費		講師等謝礼			189			
需用費		色上質紙、横断幕作成、チラシ印刷代等			162			
使用料及び賃借料		バス借上げ料、高速料			94			
委託料、役務費		照明委託料、郵送料			56			
関連事業	男女共同参画保護救済事業 ※平成30年度から男女共同参画推進事業へ統合							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	596	1,118	0	0		
		補正予算等…②	0	0	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	384	873	0	0		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	212	245		0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)	人権問題啓発事業			202	府補助金	22 頁
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.61/0.08	0.69/0.10	0/0	/			
	概算人件費…④	5,080	5,770	0				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		5,676	6,888	0				
執行状況	執行額…⑥		332	934				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		55.7%	83.5%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		女性団体活動支援講座参加者数	人	73/90	84/92			
	女性活躍応援事業補助金交付件数	件	-	4/2				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		情報紙発行部数	部	2,000/2,000	2,000/2,000			
		単位あたりコスト		0.2	0.5			
補助金募集チラシ配布数		部	-	1,900/1,900				
単位あたりコスト		-	0.5					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・事業の実施については、実行委員会形式で行い、市民の意見を直接聞き、事業に反映させている。 ・京都府や経済団体、民間活動団体等との連携が重要で、特に女性活躍推進については、今後につながる土台ができたと考えている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市民協働事業はニーズを直接反映することができ、大規模啓発事業の成果に繋がっている。 ・受益者との負担関係については、他市町村とも比較をしながら、今後検討していく必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・年度ごとに年次報告書を作成し、成果実績についても推進会議、審議会等で審議し、事業の実施状況や効果について、広く公表している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>はばたきプラン2011後期計画に基づいた施策の推進を図ることができた。また、同計画は女性活躍推進計画にも位置づけており、新たに女性活躍推進事業として京都府や商工団体等と連携し、施策を展開することができた。</p> <p>新設した補助金は、商工団体への協力呼びかけやチラシ、HP等を活用した積極的な広報周知ができたこともあり、地域、職場いづれも目標を超える応募につながった。</p> <p>女性団体活動支援講座については、参加者のニーズを聴き取り、より身近なテーマにしほるなど実施方法を工夫した結果、目標数値には到達しなかったものの、前年度を超える参加者増につながった。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>今後は、京都府や商工団体等との連携をさらに強化し、積極的な女性の社会参加の促進及び女性活躍の推進を図っていく。</p> <p>講座等の実施については、アンケートによるニーズを踏まえ、参加に結びつきやすい身近なテーマにするなど選定方法を工夫するとともに、女性団体への積極的な呼びかけを行ない、引き続き参加者の増加をめざす。</p> <p>また、情報紙により女性団体の活動紹介や男女共同参画センター事業の広報などを積極的にを行い、広く市民に向けて継続した啓発を実施していく。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容  H30年度から男女共同参画推進事業へ統合済み	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	